

6月定例会 質疑

もっと安全に、 使いやすく

6月定例会の質疑では、議員が住民の声をもとに二ツ沼やこども園の施設整備についてさまざまな意見を提案しました。その中の一部を紹介します。

廃止施設の有効利用を

塩 史子議員

二ツ沼公園内のサイクリング施設、ローリースケート場の利用を廃止にするとのことですが、その施設の跡地利用はどのように考えていますか。遊具の充実やドッグランの整備も検討してはどうですか。

復興企画課長

昨年度から検討委員会を創設し、議員が話された内容も含めて検討してきました。今年度には、具体的な施工方法なども視野に入れて検討を進めます。

門馬 巧議員

テニスコートは現状使えるような状態ではないようですが、実績次第で使用目的を変更してはいかがでしょうか。

復興企画課長

テニスコートについては、周辺施設との兼ね合いも考えて今後検討していきます。



風呂・レストラン再開は

小磯 利雄議員

長く休止状態の風呂とレストランの今後についてはどのようなように考えていますか。

復興企画課長

「ふるさと広野館」のレストランについては、精査して、できるだけ早いタイミングで利用ができるよう検討していきます。お風呂については、現在、浴槽のひび割れによる水漏れを国等の支援をいただいで修繕できないか検討しています。

危険箇所の修繕を

門馬 巧議員

風車のある場所へ続く階段の一つが破損して鉄筋が飛び出ており非常に危険です。確認と修繕をお願いします。

復興企画課長

状態を確認しており、危険であることを認識しております。早急に修理・改善を行います。

復興の予算を活用せよ

小磯 利雄議員

先週の要望活動の際の前復興大臣とのお話の中で、復興庁予算の内、約2兆円の用途が決まっていないとお聞きしました。本町のために使い道を考慮する余地はないのでしょうか。

町長

復興予算の財源確保については、常に国からの支援を受けられないかを念頭に置いて、他の被災町村とも様々な場で情報共有を図りながら取り組んでいます。現在取り組んでいる事業についても会計検査院の指導のもと、適正に補助金を活用しながら実施しています。

震災後10年を見据えて今後町民に必要なものは何かを、国民の理解を得ながら適正に国からの支援を活用して事業を展開していきます。検査院の指導を受けていきます。



こども園工事慎重に

門馬 巧議員

こども園の屋根に看板を取り付けることですが、中央台地区は非常に西風が強く、設置後のメンテナンスが難しいのではないのでしょうか。

こども家庭課長

お質しのとおり、風が強い地区にはなっています。強度計算はされています。

福島県町村議会議長会より表彰



6月3日に開催された、福島県町村議会議長会第一回定期総会において、小磯利雄議員が表彰されました。

この表彰は、広野町議会議員として11年以上の永年にわたり、地域の振興発展に寄与された功績に対し贈られたものです。